



SUZUKA
NATIONAL
HOSPITAL

鈴鹿の風

2008.1

第2号

「独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院」ニュース

<病院理念>

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



Contents

年頭のご挨拶

療育通信 療育指導室の役割／「福祉の祭典」第21回ふれあい広場鈴鹿に参加して

..... 1-2

看護だより 『8病棟の風』重症心身障害児者病棟(8病棟)での取り組み

トピックス 地域医療連携室のご紹介

..... 3-4

外来診察担当表／交通案内／編集後記 5

年頭のご挨拶

国立病院機構 鈴鹿病院長 小長谷 正明

明けましておめでとうございます。

本年は、病棟改築工事が本格化すると思
います。小職以下、職員一同、気を引き締め
て、よい病院を築くべく励みたいと存じます。

新しい年がやって来ました。今年が実り多
い年であるように願うのみです。私は、このよ
うな年頭の思いを持ちながら、いつの間にか
58回も元旦を迎えて来ました。医者になっ
てからも33回です。去年と今年を比べると、あまり変わらないように思えても、時としてドラマ
ティックに変わっていくことがあります。



医学部を卒業した時に、一番分からない病気が多い、治らない病気が多いと言われていた
のが神経内科で、逆に、だからこそ「未知との遭遇」があるかもしれないと期待して、この領域
の専門医を志しました。やはり、筋ジスやALSをはじめとして、難病だらけの診療科でした。な
す術もなく、患者さんのベッドサイドで立ち尽くすことがしばしばでした。それが、簡便な人工
呼吸器の導入で、生命の時間を長くしてあげられるようになりました。デュシェンヌ型筋ジス
トローフィーでは統計学的には十年以上の延命効果です。これに匹敵するような治療効果は、
パーキンソン病のL-Dopa治療ぐらいしかありません。

筋ジスの人工呼吸器療法開始はつい17、8年前のことですが、それを推進することによ
り、当院の医療も職員の意識も大きく変わりました。「筋ジス医療に明るさがみえて来た」
「意味のあるケアをしているのだ」「新しいことを覚えなければいけないが、それがはつきりとし
た治療効果に現れる」「・・・」筋ジスの医療で行えたことは、重心や神経難病にも波及してい
くこととなり、病院全体としての水準が上がって来ました。また、それが病院の経営や運営によ
い結果をもたらしていることは言うまでもありません。

しかし、人工呼吸器療法にしる、心不全に対する対策にしる、病気の根本的治療ではあり
ません。病気の根本原因である遺伝子異常は、20年も前から分かっているのに、治療にはな
かなか結びついていません。この分野では立派な研究は次々と発表されるのですが、臨床の
専門家は内心イライラとしながら研究発表を聞いてきたのです。

ところが最近、モルフィリーノというDNA類似物質による治療法に明るい兆しが見えて来
ました。筋ジスになったビーグル犬でのモルフィリーノ効果をDVDで見ました。筋ジス犬はヨ
ロメキ歩行ですぐにグターツと腹這いになり、ほとんど歩けないのですが、モルフィリーノ治療
をした犬は白衣のドクターの後を駆けて追いかけていました。素晴らしいDVDでしたが、くり
返し投与が必要なのにもかかわらず一回の注射代が何千万円もするとのことでした。

当然のことながら、人間にも使えるようにしなければいけません。しかし、安全性や経済性、
そして、どのような患者さんで治療効果が考えられるのかななどを、これから慎重に研究してい
かなければならないようです。はやる気持ちを抑えながら、見守っていきたいと思います。そし
て、このような遺伝子治療や先進的な治療で筋ジスのみならず、神経難病や重心の患者さん
が当院でも治療でき、よりよい療養生活を送れるよう期待したいと思います。

初夢のままで終らなければよいな、と願っています。

療育通信

療育指導室の役割

療育指導室長 愛田 弘美



療育指導室は長期療養されている筋ジストロフィー・重症心身障害児(者)の患者様が、より豊かで充実した毎日が過ごせるように、「療育」を専門としたサービスを提供する組織です。また本院が行っている在宅の障害者を対象とした「重症心身障害児(者)B型通園事業」では、療育指導室が中心的な役割を担っています。職員は児童指導員6名と保育士11名、通園担当非常勤保育士1名の総勢18名です。

自己実現や潤いのある生活に向けて実践されている筋ジストロフィーの患者様への支援や、重症心身障害児(者)療育の3本柱といわれている「スヌーズレン」「ムーブメント」「音楽活動」など、具体的な療育の内容については今後連載予定の「療育通信」のなかで随時紹介していきたいと考えています。

障害者自立支援法が施行され、療育指導室の役割は日中活動支援だけでなく、相談支援もあります。制度に関してご不明な点、またお気づきの点などございましたら、療育指導室職員にお気軽にご相談下さい。

「福祉の祭典」第21回ふれあい広場鈴鹿に参加して

平成19年10月13日(土)に鈴鹿ハンター・弁天山公園にて「福祉の祭典 第21回ふれあい広場鈴鹿」が開催され、今回筋ジストロフィー患者様3名が参加されました。ふれあい広場とは、毎年秋に鈴鹿市社会福祉協議会が主催して行われる福祉の祭典であり、様々なイベントが催されます。そのイベントのひとつとして施設・団体作品展示コーナーがあり、鈴鹿病院



も例年このふれあい広場において、筋ジストロフィー患者様の作品を展示しています。当院の筋ジス患者様は日ごろ療育活動で熱心に創作活動に取り組んでいます。その丹精こめて作り上げた作品の数々を広く地域の方に見ていただく場として、日々の成果の発揮の場として参加しています。今年度も患者様の力作(伊勢型紙、ビーズ手芸、絵画、粘土など)をたくさん出品することができました。また当日参加された患者様も、晴れやかな様子で展示作品を見たり、様々な催し物(太鼓演奏、AEDの説明会など)を楽しまれていました。

(児童指導員 井上由美子)

看護だより

『8病棟の風』重症心身障害児者病棟(8病棟)での取り組み

8病棟 副看護師長 山田八重子
看護師 猿渡 栄子

当病棟には1歳から55歳まで幅広い年齢層の方が入院しています。患者様は喜び・痛み・苦しみ・空腹などの要求を言葉で表すことはできませんが、目の表情や全身を使って教えてくれます。私たちは患者様の生活の質(QOL)を少しでも高めるために成長や障害に合わせ、様々な看護に取り組んでいます。



たとえば、人工呼吸器・経管栄養が必要な方でも嚥下機能はとても大切です。唾液は通常安静時でも1分間に約0.3ml出ているといわれています。したがって嚥下機能の維持・改善を図ることや口腔ケアによる感染予防は、重症児・者にとっても必要不可欠です。そこで8病棟では関係職種と連携を取りながら摂食・嚥下訓練を行っています。また、呼吸の安定を図るため常にポジショ

ニングを考え、呼吸療法認定士を中心としたスタッフが一丸となり、日々の生活を通して患者様個々にあった方法で呼吸リハビリを実施しています。その成果もあり、人工呼吸器を使用されている方や経管栄養の方も、お誕生会などの行事に合わせてケーキなどの味覚体験を楽しんで頂けるようになりました。今後も安全に配慮しながら、患者様が安心して快適な入院生活が過ごせるようスタッフ一同頑張りたいと思います。



トピックス

地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室 乾 大介



はじめまして皆様。鈴鹿病院地域医療連携室の医療社会事業専門員、乾です。まず地域医療連携とは何か、私なりの考えを述べさせていただきます。数年前の介護保険法成立と施行に伴い、新聞やテレビで地域密着・地域連携という言葉がクローズアップされだしてきました。なぜ介護保険か。それは、一つの例として介護保険法の特別養護老人ホームに入所申込をされていて、「順番がきました」という連絡は地元の人を優先にしていることが挙げられます。要するに、特別養護老人ホーム入所申込書への申込者記載欄に地元の人間であるかを書く欄があり、地元であると点数が高くなり入所への道のりが短縮されるという寸法なのです。

このことは各医療機関・市町村でも同様で、地域性を重要視し、なるべく入院患者様の居住地と家族様の居住地の距離(いわゆる心の距離)が離れていかないようにするという意図であると私は解釈しております。これにより地域に密着した医療福祉が大切であると考えているのです。非常に大切なことです。

それでは、次に私の業務内容についてご紹介させていただきます。まずソーシャルワーカーとしての主たる業務として、患者様・家族様からの医療費の相談、各種制度についてのアドバイス、他機関との連絡調整を行います。そして、入退院に関して他病院からの新規患者様ご紹介の相談窓口としての役割を果たします。いわば他病院からは鈴鹿病院の顔として見られることも少なくないので、お会いしたことのない方との電話の対応には常々緊張して神経を使います。

最後に私のいる部屋についてですが、実は地域医療連携室という部屋はなく、医事課の片隅にデスクがあり、そこで毎日頑張っております。今後とも入院患者様のために日々奮闘して参りますので、皆様ご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

患者様・ご家族様へ 医事係より 受給者証・保険証の確認のお願い

新しい障害福祉サービス受給者証・療養介護医療受給者証・障害児施設受給者証・障害児施設医療受給者証・特定疾患の受給者証・心身障害者福祉医療受給者証・国民健康保険証・国民健康保険標準負担額減額認定証等の受給者証・保険証は、自己負担額に影響しますので、更新時には必ず、新しい受給者証を受付窓口(医事係)までお持ち下さい。また、月一回の保険証確認にご協力下さい。

外来診療担当表 (2007年12月1日 現在)

		月	火	水	木	金
神 経 内 科	午 前	小 長 谷	酒 井	田 村	小 長 谷	久 留
	午 後				(予 約)	
内 科	午 前	柴 田	木 村	安 間	安 間	野 口
	午 後					
小 児 科	午 後	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)
整 形 外 科	午 前		田 中			田 中
	午 後		(装 具 外 来)			
リハビリテーション科	午 前					田 中
	午 後					田 中
歯 科	午 前	清 水		松 村	吉 田	

- ◆ 歯科は身体障害者の方に限ります。
- ◆ 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- ◆ 小児外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- ◆ 土曜日、日曜日、祝祭日は休診とします。



交通案内

- ◆ JR「加佐登」駅より徒歩8分
- ◆ 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- ◆ 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- ◆ 三重交通バス(荒神山口行き/栢大神社行き)「加佐登神社前」下車すぐ
- ◆ 鈴鹿市西部地域コミュニティバス 栢・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



- ◆ 発行
平成20年1月
独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院
〒513-8501
三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号
Tel. 059-378-1321(代)
Fax. 059-378-7083
<http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

編集後記

昨年は地元三重で食の安全を揺るがす出来事がありました。その反面、野口みずきさんがマラソンで優勝するうれしい事がありました。また、野球では日本中が星野ジャパンに熱くなりました。私達もそれに負けず皆様に楽しんで頂けるように「鈴鹿の風」を送りたいと思います。

(山田八重子)